

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師： 東京医科歯科大学大学院
元助教授 真柳 昭紘 先生
2. 演 題： 調節性咬合器の理論的解析
3. 日 時： 平成30年 2月 8日(木)17:00～18:00
4. 場 所： 歯科棟南4階 歯学部特別講堂
5. 要 旨：

調節性咬合器は下顎位，下顎運動を再現する装置として，顎口腔系に調和した咬合面形態の製作，歯牙のアンテリアガイダンスの決定，そして下顎位，下顎運動の診断等という目的の為に，間接法と共に発展してきた。それ故，調節性咬合器は，咬合理論，下顎運動(側方運動)理論，そして，臨床術式と密接な関係があり，現在迄，様々な調節機構を有する咬合器が数多く考案され，製作されてきた。しかし，調節性咬合器はどうあるべきかという要件は未だ明確に確立されていない。この問題を解決する為には，側方運動の解析，咬合器の調節性，再現性，咬合面形態への影響，そして間接法の咬合面精度等の理論的，総合的な検討が必要である。

連絡先： 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)